京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

定價 ▲一部金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 五號活字十七字詰一行金五十錢 特別廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久辨一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番 六五番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

鮮米移入税廢止問題に就て（三）

…るも米價の騰貴は、本邦に輸入せらるゝ其る穀物、高率の關税を賦課せらるゝ其影響に外ならざるなり、新説所揭の如く米價は騰貴一方に傾き更に低落の模様見へざるのみならず、延いて一般必須の物價に及ぼし、國民自己の富の程度に比して釣合はざる生活費を支辨せざるべからざる苦境に立ちつゝあるは現に見る所の如し、蓋し本邦の入口增殖は頗る急激にして、之を統計に徵するに每年約百分の一を加ふるの事實を示せり、此割合にて進むときは現在の入口を假に四千八百萬として、十年後には五千五百萬、二十年後には六千萬、四五十年の後には現今の二倍に達すと云ふべきなり、然るに此多數の入口に供給する食料產出の土地面積には限りあり、從つて如何に其耕作を改良し、未墾地の開拓を奬勵するも、到底入口の增加に伴ふだけの生產力を增加する能はず、況んや今日にありても朝鮮以外、英領印度、佛領印度、暹羅等の諸外國より其國產米の輸入を仰ぐにあらざれば國民の口腹を充たす能はざるの實狀に瀕しつゝあるにあらずや、吾人は是等外國產のものも直ちに輸入税を全廢することの事情上不可能なるを知るが故に之が廢止を唱ふるものにあらざるも、朝鮮米に至つては同一國內の產物なるを以て之に移入税を課しつゝあるは道理上既に不當なるのみならず、朝鮮米の年々本邦に移入されつゝある數量の決して少なからざるを見ても之をして廉價に本邦人に需要せしむる、米價の騰貴を幾分なりとも防止すべきを得べしと信ず、況んや朝鮮の面積は我本州と略同じく、而かも農產に適する土地多く、其人口僅かに千三百萬人に過ぎず、我拓殖方針にして宜しきを得ば米穀の產出益々增加すべく前途極めて有望なるにあらずや。

試みに明治三十九年より四十三年に至る五ヶ年間朝鮮米の本邦に輸入せられたる穀物を記せば（大藏省貿易年表に依る）

	數量（擔位）	價額
三十九年	三三、九六	一、五五九、〇〇一
四十年	一、五三〇、六六四	七、九九四、七八四
四十一年	一、二二六、三五九	六、〇三五、八六九
四十二年	九六八、〇八〇	四、四四一、五五一
四十三年	九二〇、一七〇	三、九五三、七二一

上記の如く、新領土より本邦に移入せし米穀は極めて多額なり、之れに移入税を課し、本邦國民の生活を困厄に陷らしめ、一方には之れが爲めに新領土の生產力を消耗せしむるが如きは、果して賢明なる政策と稱すべきか、吾人が高明達識なる現政友會總務の盡力を待たんとするもの即ち此點にあり。然るに政友會員中重農保護論者ありて低價なる米穀の輸入增加は我農業に大打擊を加へ、至細多數の農民をして失業の悲境に沈淪せしむるの惡果を致さんとの極端なる言議を爲すものありと雖も是れ實に一箇の杞憂に過ぎず、論より證據、逐年外國米の輸入巨額に上ると雖も、之が爲め我米作の衰退を來たしたること無く、米價亦依然として昂騰の一方に向ひつゝあるを見れば、朝鮮米移入税を廢止するも決して論者が憂ふるが如き不始末を見ざるや知るべきなり。之を要するに、朝鮮米移入税の存廢は一國經濟の前途に寒心すべきものあるが故に、吾人は斯の如き緊要なる議務が黨內或者の妄言に耳を傾けることなく、此移入税廢止に盡力せられんことを切に希望して止まざる也。（琴嶺）

●水利事業増收

臨益水利工事は既に其の全部を竣工して別項の如く通水試驗を行ふべき運びにまで立至りたるが同工事の灌水區域は三千町歩に渉り、從來一反歩の收穫三四斗なりしもの灌漑の結果約二石を舉げ結局一反に付一石六七斗の增收となる次第なるを以て之れを灌水區域全部に通算するときは一ヶ年約四万八千石乃至五萬石の增收となり價格に於て約五十萬圓の增益を見る次第なりといふ無論前記の如く工事は既に完了し居れば此の利益は今秋の收穫より之れを舉ぐることを得る筈なり

外事一束

△佛領● 印度支那總督にサラン氏任命せらる氏は活動的人物とて衆望大也。

△巴里● に於ける飛行機椿事に付て各國政府より首相見舞と陸相弔電頻々。

△墨國● 大統領ディアス氏二十四日辭表を議會に提出し氏は歐州へ遊ぶ決心。

△交涉● 墨國平和條約談判委員として叛將マデロはドミンクエゾを任命す。

△軍隊● 西班牙國陸軍委員會は義勇殖民軍隊を作るの案を起草政府に提出。

△募集● 右義勇殖民軍隊は馬顛ギニア其他設け外國人の入隊を許す可し。

△露國● 下院議長グチコフ氏は露國は巨費を投じても極東に於ける地位を鞏固にすべしと說き又日本の露國に反對の日近し準備怠る勿れと云ふ。

△米國● は獨國に對し英米の如き同様の仲裁條約を締結せんことを提議せり。

△南米● 伯剌西爾在の葡國勤王黨は廢帝復位を計るため五百萬馬克を醵金す。

△慘死● を遂し佛國陸相の後任は外相クルッピー氏臨時陸相事務取扱被命。

△締結● 墨西哥に於ける平和條約は叛軍首領とデアス氏との間に調印結了。

文苑

○兀良哈の野（三）　礫々庵

兀良哈の曠野 咲く、女郎花は沈む光の淡紅黄色の露を纏ひ土の裳を引く如く、影を引けば草花の影に並びて猛者の影も引いて居る。

フーフーと生温い風が吹き來れば、手折られたる女郎花は、猛者の心のまゝ底でも匂ふ「黃い、黃し」ぞ濟正の口から聞いて、耳に聞にはあまりに細く少さい、香の出る「古郷は何處の邊ぞ…」と幽に云ふ。

現在を失念したる聲で有る。

現在を失念したる心には、唯、過去と未來と而已か、ありありと現れる。



召使れ初　第六十一回　黒法師

れ菊等一統がれ道の出世を邪魔すべき決議合せる事、早くも國尾の耳に入りき、國尾はれ道召出されの事あり期したり、此事情の必ず來り迫るべきを豫らせて、何事につけても白き眼を光らせて、國尾の仕方に反對する淵野がれ道一足飛びの出世に對ひて、故障を

これ實に由々しき事なり、斯くてれ奥御前奥方の御心配も絶ゆる時なくば、浪風の絶ゆる時あるまじく、說いては御當家光明の上に一ぢら影掛りて除かざらん、されば遂に末代の瑕瑾とも御當代様御名の穢れてなる事あらんも知らじ、事は小さくれ道ぞの一身に關はりたる事なれど、れ家規模の上より云へば、中々の大事なり、捨て置かれんと、されを何れより手をつくべきか、此の懸案急には出でざりし。

れ道は身に冷たき秋雨の降りかゝるも知らで、一圖に奉公を大事と勵みぬ、出世ノ階梯の一段を擧ぢたる彼女は之れを機會に二段三段五段十段と順を追ひて、父上の御名を揚げんとの希望に燃されぬ、然し彼女は上をのみ見て走る無智無謀の女にてはあらざりき、十里の道を行くには十里の用意あるべく百里の道を走るには百里の用意あるべきを思ひて、只奉公を大事に勵みぬ、奉公大事に勵む心はやがて忠義の骨髓、忠義骨髓を得たる者は、自然に出世の道を得る、これ處世の奥儀なり、れ道は誰に教へられねど、自らこの奥儀を知りぬ、彼女は奥方に見出しに預らんとして、國尾によく仕へたるにはあらず、若年寄より中臈に出世したき心をもて、奉公大事に勵むにはあらず、一圖堅忍の眞を盡すが、國尾様への報恩、故に奥方への忠義と思ひて骨身を惜まず奉仕するなり。

忠誠の光りは日の光りの如く、偶々隱々と照すなりき、奥方を初め佐野主膳を初め、れ寄合稱たる若江を初め苟くも正しき道を踏むものは皆なれ道の忠義に感じたりき、されど日の光りもて時に村雲の邪魔あるが如く、れ道の忠義にも淵野一派の反對ありて、この間

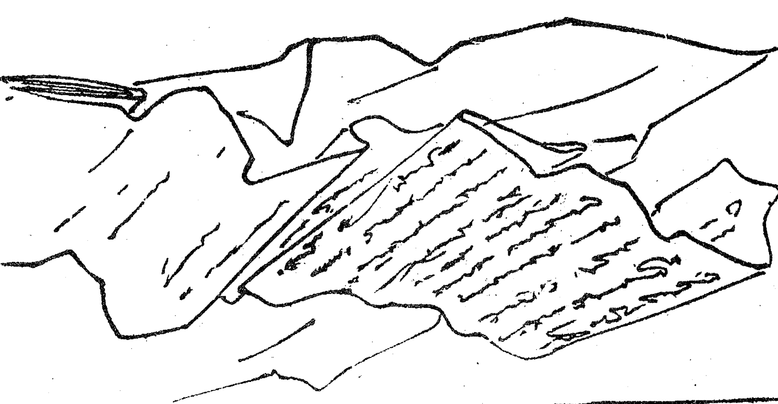
「これよ、家内よ、佐右衛門よ、れ道に好いれ役が附いたとよ、御知行は三十石、若年寄にれ召し出しなされたとよ、砂利の中に交つても、玉の光りは何時か現はれる、心掛けのよいものは何處かに違ふ、年はまだ十八、十八でれ召し出し、私の手からさし上げたれ道の出世、此様な嬉しい事はない、神さまへれ供酒尾頭買ふて祝ひするぢや」

彼はれ道より送りし消息を持ち歩きて、家内の者に觸れ歩く、この噂を洩れ聞いて羨やましげに耳を澄ますは、三年前御兵衛に救はれて當邸に召し抱

云はぬ許なしと觀念しき。然も淵野に不平の聲はなくて、この部下に殉ずる決議を爲したる由を聞きたる時、國尾は悲しげに眉を顰めたり、

聞には絶えず白き目を注がれき。然かもれ道は知らざりき、れ道は何事も知らずして、忠義奉公を旨として御知行三十石を給はるに至りし事はれ道、へ正木佐五右衛門へも知らされぬ、海老名御兵衛へも知らされぬ、佐五右衛門はこれ全く日頃信ずる氷川明神の御蔭なりと悅びて、日毎に參詣の足を運ぶ、海老名御兵衛は我子の出世を見たる如く、悅び勇みて。

ける、れ家なりき、れ家は二十歳、年は少し過ぎて見ゆれど色はすが凝せず美しかりき。



京城新報

海軍記念日

五月二十七、年々歳々此の五月二十七日、是れ他の三月十日と共に、大日本國民の忘るべからざる日也、忘れんと欲して忘るゝ能はざる日也。[illegible]

愛國婦人會總會

常地昌德宮秘苑內に舉行さるゝ愛國婦人會は全國に亘り數百万の會員を有し、會の目的たるや戰死並に準戰死者、遺族及傷兵を救護するにあり [illegible]

借款日露抗議

東京電報（廿六日）

四ヶ國借款契約は清國の滿洲開發に [illegible] 具體的文書として四 [illegible] 示する次第なるが滿 [illegible] 權利を有する日露兩 [illegible] に除外せられたる結 [illegible] する權利を有せず且 [illegible] 事を得ず滿洲 四ケ [illegible] 6が如き實狀なるか [illegible] に關して諸國政府に [illegible] 事となるべく抗議の [illegible] 滿洲における發言權 [illegible] きざるべし

▲兩鎮守府檢閱使　海軍大將伊東祐亨氏は二十六日橫須賀、舞鶴兩鎮守府大湊要港及び第一艦隊特命檢閱使仰付らる

●本年の蠶業獎勵費　本年度に [illegible] り居れる由にて本年は氣候も幸ひに順 [illegible] 如く霜害も無 [illegible]

[illegible] 後一時より總督府醫院參觀し藤田院長自ら案內の上仔細に各病 [illegible]

▲萩原通商局長の訃　萩原通商局長は胃癌にて療養中の處廿五日午後八時急に激變し逝去せり

▲御料林の鎮火

岐阜縣惠那郡付知村御料林の失火は漸く鎮火せり

▲東京府下の降雹　東京府下國分寺村附近に近來稀なる雹降り其他の被害多し、桑園にも損害を來せり

▲叛軍外人殺害

華盛頓　墨國電報に依れば墨國コレオン駐在米國領事より外務省に達したる公報によれば當地の激戰に於て叛徒に殺されたる清國人は二百六名に達せしが官憲は清國人をして急遽同地を退却せしめ市內平穩なりしも又電報によれば清國人の外日本人七名西班牙人八十二名獨逸人一名コレオンに於て殺されたりと云ふ

▲墨叛軍と清人抗議　墨國革命黨叛軍が進軍の途トクーロンに於て在留清國人に殺害を加へたるより清國は兩に墨國政府に抗議を提出したるも墨國政府に於ては元より叛軍の行爲なるを以て何等之を解決する能はず何れ此等に關しては國內平和回復の上責任ある交渉開始せらるゝ事となるべし

▲本年麥作調査　農商務省にては各府縣に對し本月三十日を期し麥作の豫想報告を徴する筈なれば來月四五日頃取纏め之を發表する運びとなるべし

▲陸海軍定期敍勳　陸海軍武官定期敍勳令二十六日發表勳一等以下總員六百餘名なり

▲勸銀法改正　日本勸業銀行は昨二十五日總會を開き一千萬圓增資の件勸業銀行法改正の件可決したり

▲御料林の大火

岐阜の山火事は火勢益々猛烈にして遂に木曾の御料林に燃へ移れり

▲鮮人觀光團招待　桂首相は二十七日朝鮮觀光團を華族會館に招待し一場の訓示をなす由

▲遣英宮の消息　伏見遣英宮の一行はスエズ運河通過二十五日ポートセッドに御安著の旨公電ありたり

▲地方官更迭と人選　栃木鹿兒島縣知事は、同夕大阪市長に就任すべく決定し又山梨栃木　笠井嚴手の兩縣知事は休職の事に內定し遠からず發表さるべきが其結果六地方長官の更迭を行はるべき事實なるが其の後任として目されつゝあるは昌谷東京、不田大阪、不破丘康、堀神奈川の各地方事務官に付詮衡中なりと當局者は語れり

●學校組合の現況

民報　民團區外に於ける在住內地人の集團地には從來日本人會の設けありて公共の事を處理し併せて教育に關する設備をも力め居りしが右は法人として何等の效力なきを以て孰れも統監府令に基き學校組合に改設するを便利なりと續々認可申請中に在り而して今日迄に認可を得たる數は左の如くなりといふ

道別	組合數	學校既設	學校未設	未認可日本人會
京畿	五	一	…	五
忠北	六	二	…	一
忠南	七	一	二	七
全北	七	二	…	一
全南	一〇	三	…	二
慶北	一四	二	一	…
慶南	二八	…	…	一
黃海	五	…	…	二
江原	五	一	…	…
平南	三	…	…	…
平北	九	…	…	…
咸南	三	…	…	三
咸北	二	…	…	三
計	一〇四	一一	三	二五

●鴨綠江材木の新販路

鴨綠江材木は從來主として天津、芝罘方面に向つて輸出し居りしが今回新に南滿に販路を擴張する事となり採木公司の永山參事は右の用向を帶び大連に出張中なりと云ふが同地には北海道材木あり又哈爾賓材木の南下するありて隨分競爭を豫め居るところなれば更に鴨綠江材木の輸入するあらんか其競爭益々劇甚を呈するなるべし

●增設金融組合

本年度に於て增設すべき金融組合は三十個所あることは既報の如くなるが右組合の開業期に關して聞く處によれば目下該組合の理事として就任すべき人選は漸く纏り其十七名だけは昨今夫々到達したる如き次第にして更に組合員を募集し設立委員を任命して開業するには尚ほ多少の時日を見るべく今日に於て設立委員を命じ開業の運に近付き居れるは僅かに二三箇所に過ぎずして其他は九月過ならでは開業を見ざるべしと云ふ

●普通學校增設

朝鮮人關係の普通學校は各道各郡一校に及ばざるの樣に在り、故に之が增設は極めて急務に屬するも財政の都合上遽に之が希望を達し難しとの事なるも然れども幸ひ併合の際御下付されたる恩賜公債の利子を教育基金に指定しありて其五分の一を以て各道郡とも之によりて該校の新設を計るべく其結果本年度に新設さるゝものは百數十を算せりと云ふ

▲相場電報（二十六日）

（明治町西村支店着電）

[illegible]

●納稅成績の標準

度支部當局の語る處によれば最近の徵稅成績は頗る良好なりと樂觀し居れるが更に半島の稅務行政に精通せる某氏に就て之を聞くに決して然らざるが如し即ち調定額に對する納入歩合九割五歩以上に達し稀有の好成績なりといふも其實は併合當時の恩典、係る租稅減免と從來巨多の不納額を缺損處分に付したる爲めにして單に現存の計數のみを以て之を良定するは早計なりと云へり

●高女補助指令　豫ね京城民團より申請中なる高等女學校補助の件漸く決定し二十五日付を以て指令を達せられたり其命額は五千圓にて補助條件は既報の如く內容の改善に在りと

●定例長官會議　二十六日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督臨席の上倉富、石塚、木內、荒井、兒玉、宇佐美、池田、小松の各局長官明石警務總長俵副總裁列席の上政務の打合せを爲し正午散會したり

▲八さまく▼（二十九）

德久米藏君

能く儲くるものは能く散ずべきで斯くあつてこそ金に光を放つと謂つ可しだ、ソコで是れが則ち民間識者德久米藏君の金科玉條である、彼の體中の如うな汗氣のない處で、何時も三春行樂的に世を送つて居る處、偉ひと云へば餘程偉らひ、君は山口縣の人で不得要領の其道口は頗る故伊藤大人に彷彿たりだが、金儲けなる實に巧者なもので、不景氣なんて風は何處を吹くかと常に嘯いて居る、本業は土木請負丈けあつて肌合が何となくキビキビして居る。

●山縣總監の出發　既報の如く山縣政務總監は廿六日午前九時十分南大門發の列車にて東上の途に就きたるが停車場には各國領事、各部長官局長各會社重役新聞記者朝鮮貴族等數百名見送りたるが總監は釜山より聯絡船に投じ東京に直行の筈なりと云ふ

●商工局長兼任說　工務商工局長の後任は當分の中菊池殖產局長兼任すべしとの說あり

●看守採用規則發布　朝鮮總督府看守採用規則は二十六日府令第五十八號を以て發布され即日施行の事となれり

●愛國婦人會總會

愛國婦人會朝鮮本部總會は愈帝國紀念祝日なる五月二十七日を以て舉行の事は既報の如くなるが二十五日午後二時京城ホテルに於て總會準備委員會を開き各委員幹部員五十餘名出席種々報告打合せ等をなしたるが其要項左の如し

△總會開會前花火を打上ぐること

△當日李王妃殿下御臨場のこと

△當日寺內總督大久保軍司令官其他貴賓臨場のこと

△開會の際本部副長石塚夫人山縣本部長代理として總裁殿下御眞影の覆幕を撤し閉式の際同覆をすること

△本會特別議員寺內伯夫人總裁閑院宮妃殿下の御令旨捧讀のこと

△本部長代理石塚夫人奉答文朗讀のこと

△報告は時間省略の爲め受付にて報告書を配付のこと

△來賓總代副總裁宮夫人本會會長阿部伯爵夫人の祝詞代讀のこと

△小縣本部長其他主なる祝電朗讀のこと

△當日式場に列する向を制限すると

△各所拜觀　昌德宮一圓　總會當日午後七時御覽せしめ翌二十八日は午前九時より午後五時迄とし昌慶宮二十八日は總會當日混雜するに依り午前九時より四時迄拜觀せしむ十九日一日限とす但し拜觀券は特に係員に示すこと

△茶話會を開催し役員委員は有功章者地方支部委員部より參列の役員を招待すること

△特別贊助員の申込は總會當日午前中受付係員より知らせ會員の參列を大に誘導すること

△總會後、茶話會を開き委員の增募に盡力し之を功勞者表彰の手續をなすこと

尚本總會に際し有力なる役員夫人方の奔走に依り有功章、特別、其他の會員に贊助加盟する非常に多數なりと

●仁川製鹽協會成る

仁川に於ける一大有望事業の一として已に世人に認識せらるゝ製鹽業の趨勢を見るに數年前極めて小規模なりし仁川製鹽所にて支那鹽を買入れ再製して各地に販賣を試みしより漸次需要を增加し昨年來より工場の擴張、亞くに擴張を以てすも尚供給不足の狀態を示すに至りしかば同地實業家中斯業に着目する者漸く輩出し昨今已に十二ケ所の製鹽所を見るに至れり而して是等各製鹽所を通して要する一日の石炭消費三十余噸之に附隨して鹽俵を包裝の菰一日五千枚價格七十五圓繩一日五十圓余を使用し尚上、菰及繩は總て仁川附近の農家及び不遇に於て鮮人の副業として製作するものにて必竟製鹽所の爲めに幾分の鮮人は其生活に幾分の益を得る等中には孤繩の製造を以て日常の家業と爲すもの少からず尚人夫も各所を通して一日平均二百人を使用し以上の所製鹽を各需要地へ運搬の費用亦其額を算し昨年三四月頃は未だ數ふるに足らざりしが十月頃より漸々增加し本年一月に至りて內地通運會社仁川出張所の取扱に係る貨物運賃のみにても一万圓を超過するに至りしは同所設立以來未曾有の事にして要するに其貨物の大半は鹽の輸送に基因すと云ふ斯く趨勢を以て發展しつゝあるは斯業者の利益なるのみならず仁川港の有益事業の一に數へ大に獎勵せざる可らず殊に仁川港は原鹽の產地に近く海陸運搬上至便の位地にあるは最も望すべきものなるに今同業者間に在り時に原鹽の買入れ競爭の弊を生ずる向あるは結局共倒れとなり折角の有望業を水泡に歸せしむるものなりとて去廿三日同業者會合の上十八ケ條より成る仁川製鹽協會を組織し會長、朝□氏幹事に葛城、安藤の二氏を舉げ營業上の弊害を矯正し業務の發展を圖ることに決せりと是は喜ぶべき事なり

●煙火百發打揚　來る十八日景福宮構內に於ける鐵道協會總會に際し午前八時より午後六時迄の間に烟花約百發を打揚ぐるよし

●軍人會組織の協議　龍山の在鄉軍人の團體結成に付き在鄉軍人本部會組織上に關し大橋憲兵第一分隊長、村田第二分隊長、龍山の荒木憲兵分隊長には昨日午前九時より京畿道憲兵隊本部に集合し藥師川部長、黑石副官列席協議をなせり

小生儀過日小閑を得て鮮內地巡遊に罷越し候處三十五日夜無事歸社仕候不在中筆禍に對し御慰問被下候本紙愛讀の方々へ一々罷出御挨拶可申筈の處歸社匆々多忙を極め其意を得ず候に付乍略儀紙上を以て御挨拶申上候也

敬白

峯岸水浪生

●紀念日と學校

二十七日は海軍紀念日に付き前記の如く當日は官公立各學校に於ては午前九時より各校に夫れ夫れ紀念式を舉行し校長は日本海々戰に於ける講話を試み備付の海戰圖及び模型軍艦等を示し興味を與へ後ち一級生一同を引率して別項所載の漢江西氷庫に於ける工兵隊の水雷發射模擬戰（日本海々戰）を觀覽せしむる筈

●工兵隊の擬戰　龍山の工兵第一大隊は廿七日の海軍紀念日に際し當日官公立各學校生徒の爲め午前十時三十分より午後二時迄の間に於て漢江西氷庫に日本海々戰模擬戰水雷爆破演習を爲し觀覽せしむるよし

●原氏一行の下仁　滯京中の代議士原敬氏及び井上、高橋、小川の各代議士は廿六日午前八時四十分發列車にて仁川に赴き同地視察の上即日歸京す

●小幡領事入京　天津駐在總領事小幡酉吉氏は今回歸朝の途次南滿を過ぎ廿六日午後十時四十五分の急行列車にて入京せし

●小川辯護士招待　京城辯護士會にては十七日來京中の辯護士代議士小川平吉氏を招待し懇談會を開く由

●井上雅二氏の入京　既報の如く井上雅二氏は二十七日夜入京の筈

●岡本元貞氏の歸東　京城の岡本元貞氏は廿六日山縣政務總監と同行歸東せり

●峰岸局長の歸社　內地巡遊中の峰岸本社長は二十九日夜歸社せり

●仁川稅關の運動會　仁川稅關にては廿八日午前十時より大月尾島稅關構所敷地內に於て職員大運動會を催す

●仁川青年會　同會にては二十七日午後七時三十分より [illegible] 懇話會を行ひ並に [illegible]

▲秀村浩一（辯護士）廿九日入京 [illegible]

▲水谷千乃吉（海軍機關大佐）[illegible]

▲京龍兩驛の貨客（廿五日の分）

▲南大門驛乘降客 [illegible]

▲京城手形交換高

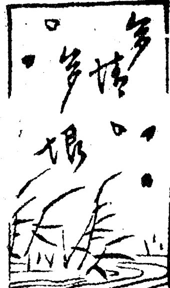
五月廿六日　金　一二八〇〇一、一一〇　枚數 [illegible]

▲茶袋▼　全羅南道長官は意外の方面から物色された、工藤商工局長に [illegible]

[illegible]

[illegible]すべき費用は[illegible]公債の利子又は地方費等にて約三十萬圓なるが之れを前年度に比較する時は十數倍の額にト[illegible]れば內地に於ける如き弊害の好結果を見るならんと云ふ

●中村總裁醫院參觀 中村滿鐵總裁は夫人同伴途の疲勞もなく昨二十[illegible]



京城 藝妓の半生（六）
淸華亭の鈴奴

アラ厭ですよう、妾なんか何のお話があるもんですか、實際よ、ホントに御恕して頂戴な、不可ないの困るワ、アラ眞實ですよ、一寸頂戴ッ……斯う麗越しに南山の翠巒を見ると **布引瀧の昔** が思ひ出されるワ、口惜しい眞實に憎らしいよ……下さるの……下さるのなら退縮命令でもオホヽヽと、併し夫れは串戯よ嘘ですよ、熟々斷つて置かないと『不埒なッ』と來ちやア堪らないもの……エ布引瀧の昔つてのを聞かうぢやないかと仰云るの、話しますさ、話しますよ、生れですか、生れは播州龍野在ツ、アラ御免なさい眞實の事を言上奉りますから、ネ、オー痛た、貴郎は隨分邪慳ですね、此樣に斯樣痕をなさるの、マア憎らしい妾ならんれ出るワ未だ痛くつてよ、サア……と更まると何だか變ですね、妾の生れたのは **神戸の花隈町** で **十四の夏** 土地の **中券** から **奴** と名乘つて罷りツン出た間もなく **中村義治**（當時二十六歳）と云ふ麥酒醸造所の支配人をして居る方に特別御寵愛を蒙ることになつたのですがね **委細** ことまでお話しすると **風俗壞亂** と來るから、斯うチヨイと一寸頂戴する間に十五歳の夏に一足飛びに布引瀧の昔は此の間にあるのよ……何ですつて、月日の經つのは速いものだつて、お冷評しなさんなよ、夫のやれ方の男振りと云ふものが凜として內に優しい味が溢れた雁次郎なんぞ到底較べ物にならないと云ふ **好男子**、加之にお財がウンと有ると云ふんでしよう **鬼に金棒**、赤豆飯にキミチよ、お前には勿体ないと、仰云る通りよ、ですからね若い朋輩衆なんざ嫉んでね同盟して苛めるのでしよう、未だカラ孩兒の妾でしよう夫れ丈でも既に我慢が出來ないのに抱主の方ぢや未だ他の客を取れつて云ふんでしよう、所が肝腎の妾が中村さんに首ッ丈けなんですもの厭だ〱と冠を横に振るから此の方でも虐待されれ堪つたものぢやありませんよ、夫れでも出來る丈けは我慢したがモウ堪らなくなつたのが其の年の暮、串情ケ話 **落籍** して貰つて殆んど二年と云ふもの御はれて居ましたの、浮氣なんぞ爲ますかよ若しか其樣ことをすれば罰が當るワ、自慢ぢやないけど中村の旦那を見ると眼には世間の男の顔なんか映りや爲ません、ですから浮いたがなぞ出る理由、下駄もあつたものです、夫れなし何うして其樣旦那と別れたかと仰云るの、貴郎も隨分野暮チンね、幾ら兩人が添つてる氣でも向ふは大家の跡取り息子親樣をれ迎へになる **五百圓の手切れ** 同時に **手當** を下さつて暇が出た、本來ならば此所で奇麗に足を洗ふ所ですけど何分實家の都合が不良いので十七の十一月三日又候中券から今度は **太郎** と名乘つて出た、元來中村の旦那にした所で惜くて別れた交情ぢやないので公然いては切れて居ても裏では矢張り元々通り御贔負になつて居たのよ、話は一寸横に踏れますがね **妾に一つ道樂** ……と云へば道樂ですがね妙な氣質で一度でも二度でもお座敷を勤めたことのある方が其の次ぎ逢つた場合「何うか爲て居て吳れないか」と云はれると夫れが何うも厭と云はれない「エヽ宜ござんすとも御心配なく」てな事に引受けて終ふ夫で何時も借金が嵩む斗りか時に飛んだ御難が降つて湧くことがあるのです、物は驗した一遍 **達引** けど仰云るの、貴郎ぢや厭よ（つゞく）

●親分の身代り

去月二十日當地竹園町に於て明治町二丁目下宿屋木村千壽方止宿廣島縣人十方[illegible]加藤吉松（三三）が龍山河端町居住阿部安吉を傷害したる事件に付き即時出張警官の爲めに取押へられ取調べの上公判に附せられ數回に涉り塚原裁判所の係にて長尾檢事立會公判開廷され被告は逐一犯罪事實と認めしより長尾檢事は懲役二ケ月を求刑し若し判官に於て懲役の必要なしと認めらるれば罰金五十圓の言渡あらんことを求めたるに對し被告辯護人岡田榮氏は被告犯罪の動機は今の被害者たる安吉が他人に亂暴せんとせしを被告が制止せんとせしを生意氣なりとて懷中せる短刀にて斬り掛りたるより其の兇器を奪ひた安吉を傷けたるものにして即ち不正侵害に對する自己權利の防衛上餘儀なくせられしものなれば無罪の宣告を與へられたしと辯論し言渡期日を定りたる當日眞正の加害者は被告吉松の親分なる愛媛縣人當時白城御成土木請負業太田德松にして當時德松は出稼混雜に紛れ逃走し吉松が親分に代り被害者となり夕乘出でしこと南部署に於て探知せしより德松には直ち令狀を執行せられ傷害犯人として公判に付せられたるが二十六日自稱犯人吉松の公判に於て犯人として訊問を受けたる被告辯護人高橋章之助氏も出廷したりしが同廷は未了なり

●指輪の行衛

愛媛縣人白[illegible]丁目矢野百太郎（三三）は同地島原旅館業吉田七太郎方客引に雇はれ中昨年十一月二十三日の前田家雇女植木さとなる者、洗面所に於て宿泊人佐々木三男が置き忘れたる金指輪一個を發見し主人に知せんと廊下を通行中なりしさとを欺罔し指輪を騙取し他言すると殺害す可しと脅迫したりとて其筋に檢擧され咸興地方裁判所に於て懲役四年に處せられしを不服とし控訴し京城控訴院刑事部に於て楠裁判長の係りにて深澤檢事立會公判開廷せられたるに被告は犯罪事實を全部否認し檢事は第一審の判決に詐欺及脅迫に因り法を適用したるは違法なれば本件は恐喝取財に因り罰す可しとて前判決を取消し懲役四年を求刑し大久保辯護士は此の犯人を被告なりとすれば贓品たる金指輪を何處へか入質若しくは賣却す可らず然るに其の所在さへ不明なるに單に殺人たる旅館の女將及植木さとの證言をのみ信用して有罪となしたるは不當なり殊に證據不充分なる點を明白に辯論し無罪を主張し尙は被告に對し賭博の非現行を警察署が告發し居るも娛樂の其の點は刑の執行猶豫あらん事を求むると頗る痛快なる辯論ありて言渡は來る三十一日午前九時と決定閉廷したり

●野菜物に御注意

近來支那人の耕作にかゝる新菊は市場に現はるゝより其筋にて試驗したる結果同新菊[illegible]之を食用して病に罹る虞あり新菊には小さき虫が害集し居るより知らずして食する時は虫害を受くるなりと云ふ因にホーレン草も同樣なりと云へば時節柄注意すべきなり

●演藝だより

●壽座 曾我廼家一座二十九日の代狂言は一番目「ホレ藥」二番目「福と貧乏」三番目「錦の錦」各三場なりと因に同一座二十九日當地を打揚ぐるに就ては名殘の爲め向ふ三日間特等を除き二十五錢均一にて一同大車輪にて精々馬鹿氣た所を御覽に入るべしと ●新舞伎座● 前に依りて人氣の藝人道一座廿七日の讀み物左の如し [illegible]田新左衛門（桃中軒雲右衛門） 神崎與五郎の生れ（京山彌丸） 義烈的雛伸中の傑作 赤垣源七（柳田角之助） 前山二席 義士本傳 梶川與三兵衛（入力の疎忽） 中席（雲入道）

蟇仙人の仙術の法理
余の觀たる片田源七翁の實驗に就て（十三）
福田山水

●白刄踏の理法●

白刄踏は前に述べたり、次は白刄踏みの離れ業、千度に一度の兼ね合ひ疎忽あるべからず、踏み損ねたら大變」アレあぶないと陰で氣を揉む御贔負筋、有るまい七十の源七君は老人だそうな。

昔は山入り炭燒きを仕たと云ふ、炭は燒いても商買で手を燒いたか燒かぬか夫れは別なれど、山で炭燒きよ鉄臺の火渡りで飯食ふ工夫はげに妙也。

半世の勞役、山中の荒仕事、手の皮や厚からふ足の裡も固からふ、近頃面の皮も格別厚からむ。

山と言へば思ひ出す野原の青草でさへ手足に怪我する小兒の皮膚はサテ弱いもの、組織は柔軟なもの、だがまた癒り方も極めて速かにケロリとするのは生々化育、新陳代謝の機能の働きが旺盛な證據である。と反對に老人の怪我つ年越しをするとか俗に云ふ、新陳代謝が夫れだけ遲い血の氣がそれだけ涸れて乾固ひのだ。

處が凡そ培ひ安い木は枯れ安う、枯れにくい木は培ひにくい、ろして優さしいものはこわれ安く堅固なものはこわれにくい、まつた柔かい物は切れ安く固い物は切れにくい、とした硬度の高い老人の皮膚は、小兒や青年の夫れに比べて抵抗力は増す筈強い筈、そして切れ易い小供の皮膚の癒り易ひ其反對に、癒りにくい老人の皮膚は夫れだけ切れにくい道理のウマ味が異理である。

そこで蝦蟇仙の白刄踏み也、例に依つて掛け聲よろしく乙に澄まし、泰然として悠づつく、白刄抜き身は上に向けて鋒下の板の間に八がシッカリ押へて居る。

やがて仙人は前より靜かに後しざりしながら、踵を上げて白刄ののせる、觀客は即ち踏んだと見て置く可し、板の間を一分と離れぬ足の指は正に爪立ちの姿勢を前に支へて、腹は當てがつた錢のステッキは、体量の半分を負ふて頻りに陰德を積む。

垂直に上に向けたる白刄の角度はあはゝ踵で前より抑されて後ゆがむ、前に屈つた躰幹の重心は白刄の垂直線の前方に外いて、重力は鈍角に白刄を壓す、是れでは仙人も踵の切れぬを決して無いとは思はざるべし。

やがて二聲三聲勇ましき氣合に威勢をつけ、力を籠めて踏むよと見せて躰を搖する、蝦蟇仙人も苦勞人ぢや、興行には是非猶豫せずば當らざるや必せり

廓のうはさ

▲花月のちゑどやら申す幼さい可愛いのは人さへ見れば「小兒は何處から產れるんでツか」の質問を發し候得ども誰れ一人滿足の返答を致すもののなきを口惜かり候を憫れと見し人「實はお尻からだよ、お其の證據は日本人の色は黄いだらう」と申たるに哈々と笑つて「オ、イヤーだ夫んならダン樣の如にれ黒い方は何處から出たんデッか」と行つて所謂ダン樣が屏息致させ候由機鋒の銳き今ドに於て斯くの如し恐るべしとてう存じ候▲井門支店の常枝は兄さんの醫學校卒業迄學資金調達の爲めに此稼業」採とパックレが事を申[illegible]候に見ズ其の口に乘ぜ黙ねられるからと申すの御座候[illegible]るべし▲皆春樓の二枚米松は年期が滿けたら斷藝の師匠するんだとか、イヤナニ折角勉强致されよ▲菊屋より罷り出でたる學吉拍子は温順きてと昔のお孃樣の樣に候へども座敷はチカ〱の巧手とか古語に曰く啼かぬ猫は鼠を取ると宜なる哉▲同じ家の小鈴生れついての酒好きとて年中胃が不良い爲め少時退いて居りましたが一昨日から良い通、此の程は夫れが劇しく來た爲め「どうぞよろしく」▲玉家の南男は客さへ見ると御機嫌はと聞くので薄氣味惡がるもの候へども內心は左にあらずで其の昔は勝業後の下調べに候とか▲同家の米駒は天性でのピッ……ピッ……チン……チン……エ、片ッ方脚が短かいのを夫れ、高田にダイナマイトを仕掛けられてから斯うなつたのだとサ▲京城樓では職細子を初めとし皆々部屋さものに御座候女將の手柄か（雀）

▲平民文庫▼

▲久兵衛なるものは孫的保護政策の軟說を唱へて居る次の樣な移住民があるから彼等が跳梁するのであるさなきだに市內禁鐵の大打撃を享けて平生飼殺し同樣、虐待させて飲食暖食の不德漢は近來其的鄕共を市內の飲食店へ較換させて密かに得々たるものあり現に夜に入ると障子より怪しい白首の姿が往來から見へる樣に仕組んで居る飲食店が二三ある今後の取締を大急務である無鑑札の給仕女が續々出來て淫賣をさかんにやるのも近き將來に於いて凡そ飲食店の女を警戒怠るべからず（本町丁目實ヶ生）▲久兵衛はんなる人一矢酬ゆる所なかる可らず、其と一寸實い生申しますが自分に反するからと直ちに「汝の樣な移住民が」調子で喧嘩腰にならないで樣に願ひ[illegible]い問題が面目に研究すてだけ價値あるものですから（保）▲京城櫻井町な日本一二藥舗の行商人立石、やらデふ人に警告す治町二丁目の井に濟治と云ふ人商務もとげて急用の義務を果せよ（への字）▲市內で素人に娼唄コツリ教へて呉れる人あらば當欄にて房所承りたし委細面談（同志二人）▲獸醫畜開學校卒業致し今春辯鮮せしも就職の手蔓無き故に困却致居度存じ候け就ては何卒目下の檢疫御教示下され度候（一青年）▲右け記者に寄せられた質問だが此の方の知識經無なれば讀者中其の向きの御教示を願はす（係）▲南大門驛の案內掛りに頗る不親切な男がある滿日入營の爲め歸東する者があつて證明手續を問合はして居た者があつたのに「其樣事は僕にや判らん」と云つて居た、お客に對して何と云ふ無作法であらう監督者御注意あれ（鍛冶屋の亭主）▲朝顔の芽に見る初夏の景色哉（光生）

（明治町西村支店着電）
▲大阪株式（前場）三三一、九〇〇（後場）三三一、五〇〇（六月限）
▲神戸電鉄 引[illegible]
▲大阪期米 ●廿六日前場五月寄十六圓八十九錢▲廿出來不申▲六月寄八十九錢▲廿九十[illegible]
▲仁川米豆取引 ●廿六日前場五六月出來不申▲七月寄十一圓三十三錢▲前高三十五錢▲最低[illegible]

諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
京城本町三丁目 大阪野村德七代理店 **田中友吉商店**

ボート製造販賣
従來端艇製造販賣致居候處多大の御愛用を蒙り奉多謝候尚々勉強可仕候間續々御用命を乞ふ
三乘 金二十圓 四圓長さ一丈一尺二寸
中古ボート賣物有り
御注文は本縣上面にても御申込の際金高の二割半を御納め
大阪市西區南波島町二十五番地
製造販賣 **山下造船所**

別製 **鐵花味噌賣出**
特製 **寶味噌**
御料理向
仁川本町三丁目 **たからや** 電話七三七番

千葉縣銚子町
醸造元 **岩崎重次郎**
登録商標 **最上醤油** 山十印
京城本町壹丁目
發賣元 **三巳商會** 電話七五三番

恩給
年金扶助料者 手數料割引
京城鐘路通り東洋拓殖會社裏小路相思洞廿九統八戸博多屋
上州屋支店 長電話九〇五番

土地建物鑛山株券賣買
一擔保及確實なる債權に對し低步貸金す
一漢江上流に在る赤松五六十のもの二十萬本賣物あり
一市へ適當の場所にて印刷業老舗機械附屬品全部讓り物あり
一良質の石綿山黒鉛鑛步止まり好き金鑛賣物あり
一水田畑及市内宅地割安の賣物あり
京城明治町三丁目 **小林藤商店** 電話六五五番

夏衣大賣出し
來る五月廿二日より
單地浴衣地用名仙
壹反に付縞(絣類總て珍柄)
四圓 五圓 六圓 參種均一
其他縮絽羽二重絽縞絽着尺並に美術半衿各種取揃申候弊店獨特なる均一販賣破格の廉價此の機を逸せず多少共御用命仰付被下度偏に希上候
明治町一丁目(電話四十三番)
秩父屋 **関根出張店**

花柳病並痔疾専門
◎六〇六號注射應需
京城相生町(電話一二九四)
院長 醫學得業士 蘆田耕平
京城梅毒病院
仁川分院 準備中

龍山櫻町百十一番戸
毎日午後二時より五時迄出張
整骨専門治療院
主任醫 村田象一
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨難患も之を治療せしむ
先代の門弟 助手 **中野伊之七**

新鰻丼蒲燒
はねぬきどぜう
天麩羅 生蕎麥
本町一丁目裏
天金 電話五九八番

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娯樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二番 振替貯金二一三番

義齒術全般
京城南山町二丁目(伊藤組南に入る)
小倉三郎 電話

新荷着
浪平板 洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 **佐野彦藏商店**
電話一六三番 振替口座 京城一二〇番

夏物聯合大賣出

本月二十四日より
同三十日まで
現金に限り聊か添物進呈
其外見切反物並によせ切に限り添物なし

山口呉服店 京城本町四丁目 電話九番
山枝呉服店 京城本町五丁目 電話二二四番
圓城呉服店 京城本町三丁目 電話一五七番
恵阪呉服店 京城本町二丁目 電話七二六番
末永呉服店 京城本町四丁目 電話六八二番

産婦人科
本分院共 入院隨意
本院 京城明治町一丁目(勸商場横)(電話九六〇番)
診察時間 自午後一時至五時
醫學士 **本間健兒**
分院 龍山柳町一丁目(元高會町通)(電話第五二四番)
診察時間 自午前九時至正午
本分院共 入院隨意

S.K.S
土耳古煙草
エスケーエス
専賣局定價 一號金六圓 二號金五圓
京城辻屋、龍山豊田、木浦沖永、馬山西川
オチ商會
電話ケオ聚賓八二十

朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科専門醫院
電話一〇四七番

月經をつうじ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滞りを通じ其他月經不順より起る子宮病、血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く、婦の病を根治し、血のめぐりを能くす
二十世紀之新劑 最更新藥 月經不順
通月丸
一日入錢半週分廿五錢一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人投藥とせば豫防を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舗 東京日本橋通四町 丹平商會支店
賣藥は東京市内其他各店に取次ぐ
代理店 京城南大門通三丁目 **新井藥房**
電話九〇四番 振替口座 京城一〇六番

磨擦白米
龍山精米所
京城米倉町 電話一二一番

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣
酒井組 電話一二四九番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲 電話千六十九番

芙江公州 **間定期出帆廣告**
芙江發毎日午後一時四十分公州發毎日午前六時
客樣の便利の爲め七時芙江着(四時)公州着(雜誌新聞將棋碁等の備付あり)
御用命は芙江驛前 中條運送芙江支店

キ
五月中 **瀛船出帆廣告**
天草丸 州行 日、日、廿六日
泰丸 日、日、日、廿九日
二省丸 漢江富里浦屯串行 日、日、日、廿六日
成歡丸 島行 日
千早丸
仁川本町四丁目
合資會社 **秋田商會船舶部** 電話七三番七五〇番